

***富田弘一郎氏の「星のしをり」(The Garden PERSEI)を収蔵**

国立天文台を2012年3月31日付で去ったY女子からアーカイブ室がいただいたものに表記の「しをり」がある。「The Garden PERSEI」は筆者の覚えている限り、東京天文台官舎を出た富田弘一郎氏が建てたマンションの名前だと記憶している。まずはこの「しをり」の入った包みの表紙(写真1)を見て頂こう。

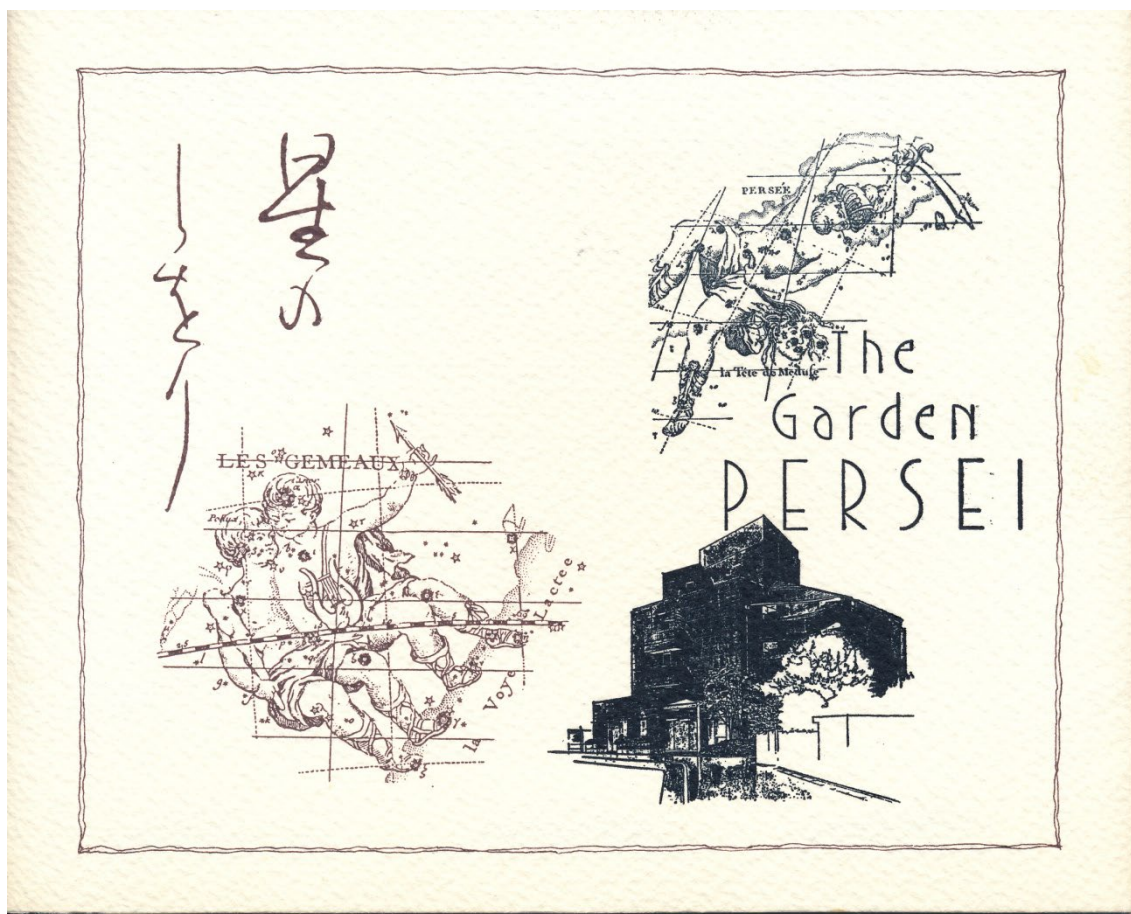


写真1 「星のしをり」の入った包みの表紙

「星のしをり」の包みの表紙には「ふたご座」、「ペルセウス座」を配し、右下に富田さんが建てたマンションの写真が描かれている。Y女史はこれを昭和63年(1988年)1月に富田さんからもらったと記してある。富田さんは1925年2月生まれだから62歳の時である。富田さんの定年は60歳の時だったから、定年でおやめになった後のことである。

この包みの中にはカラーのフィルム状の「しおり」が6枚入っている。その状態は写真2のようである。それぞれについて写真を紹介するが、上部に星座、中央に天体写真、下部にその説明を配している。

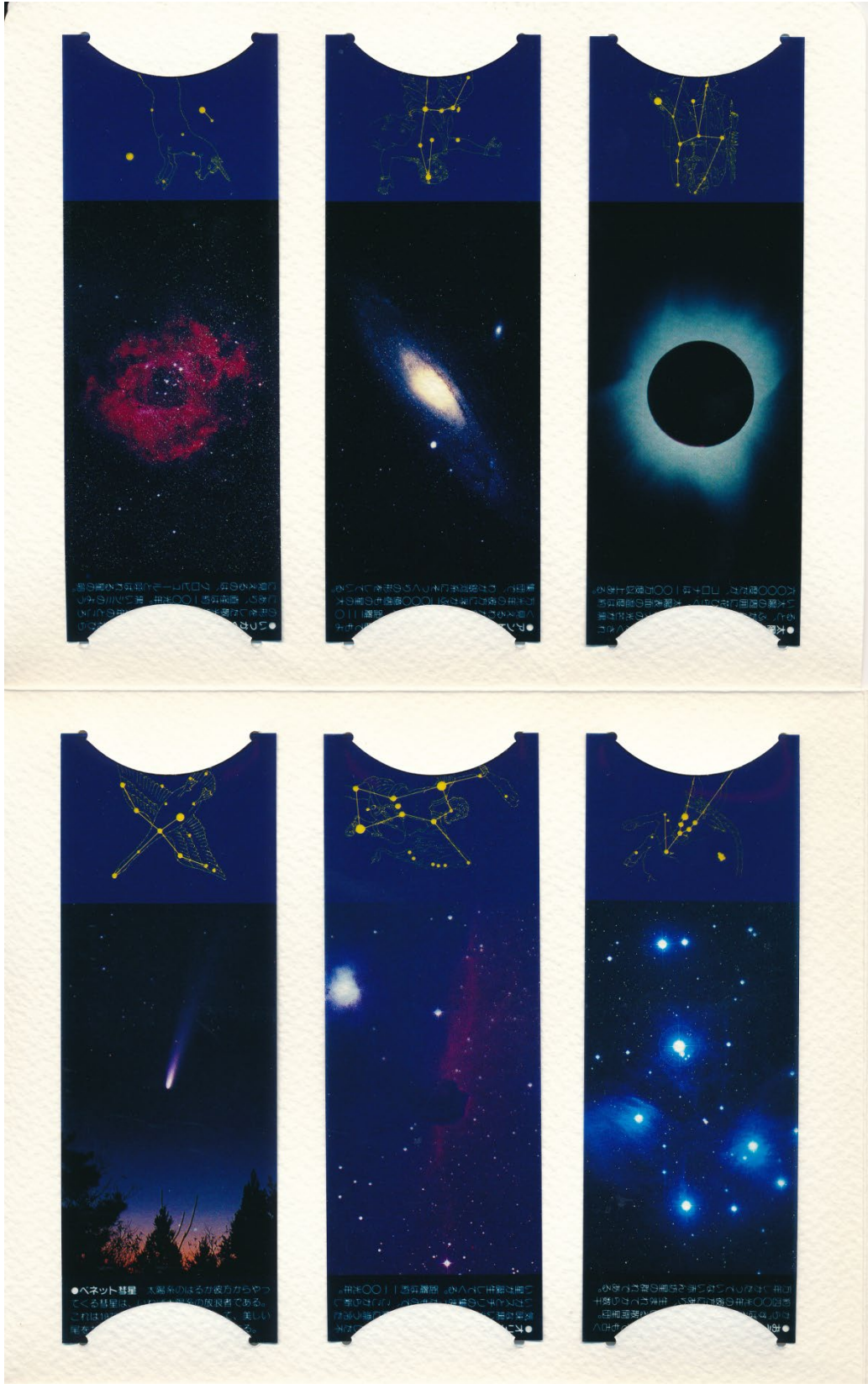


写真2 6枚セットの「星のしをり」

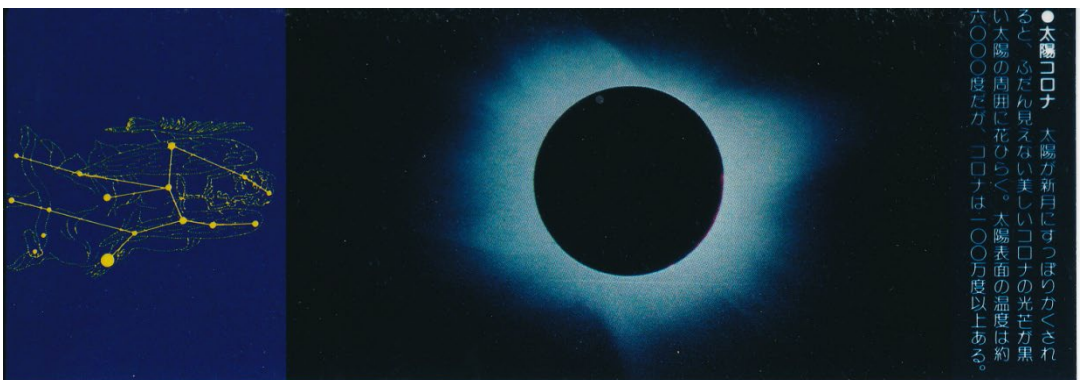
1) バラ星雲の「しをり」 (写真3)



2) アンドロメダ星雲の「しをり」 (写真4)



3) 皆既日食の「しをり」 (写真5)



4) 馬頭星雲の「しをり」 (写真6)



5) プレアデス星団の「しをり」 (写真7)



6) ベネット彗星の「しをり」 (写真8)



富田さんがこのような美しい「しをり」を作っていたということを筆者は全く知らなかった。親しい人に配ったと思えるが、筆者は富田さんとはずいぶん親しい仲だと思っていただけに、もらえていないのが残念である。筆者は東京天文台堂平観測所に観測に通っていた時代があり、天気の悪い時など夜を徹して富田さんと花札の「こいこい」をやったりしていた。この「こいこい」で、ある夜、筆者が一度も負けず、富田さんがもう一度、もう一度と挑戦し、ついに夜が明けてしまったことがある仲だったのである。

その富田さんの遺品で、マンション「The Garden PERSEI」に残っていたものは、全てアーカイブ室に頂いたが、この「しをり」はまだ発見されていない。

この「星のしをり」は富田さんの節目の「記念品」と思えるが、「しおり」として使うのはもったいない気がする。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp